

白ネギ栽培におけるヨトウコンSの簡易設置法

農業研究部 病害虫チーム

近年、夏秋期の白ネギ生産において、シロイチモジヨトウの発生が問題となっている。防除対策として性フェロモン剤ヨトウコンSが一部普及していたが、設置の手間がかかることから利用面積が減少した。この点を改善するために、フェロモン剤の設置方法を明らかにした。

【普及したい技術のポイント】

①支柱に取り付けるフェロモンルアーを3本から5本に増やし、10a当たりの設置支柱数を33本から20本に減らすことができる。

②フェロモンルアーを取り付けた支柱は、主に通路脇や圃場周囲に設置し、圃場内の設置を減らす。

【研究成果の内容・留意点】

1. 性フェロモン剤ヨトウコンSの設置法

- ①フェロモンルアーを支柱先端に5本取り付け、10m幅で圃場周囲に設置する方法で従来の方法と同等の防除効果が得られる（図1、写真1）。
- ②ヨトウコンSを改良法で設置した処理区A、処理区Bともに、シロイチモジヨトウによる被害が50%程度軽減された（図2）。また、農薬の使用回数も平均11回から7回に軽減された。

2. 留意点

- ①圃場幅が15mを超える場合は、圃場内にも支柱を設置した方がよい。
- ②シロイチモジヨトウの発生する7月から10月の間、5ha以上のまとまった面積に一斉処理する。フェロモン剤の有効期間は概ね60日なので、9月上旬にフェロモンルアーを同数量追加処理する。

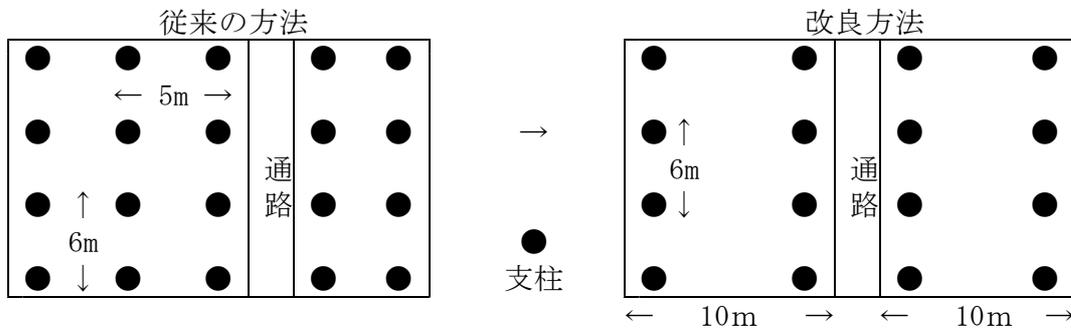


図1 フェロモンルアーを取り付けた支柱の配置図



写真1 支柱先端に取り付けたフェロモンルアー

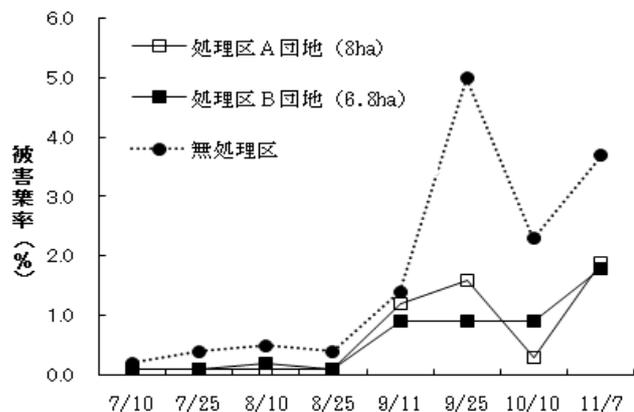


図2 各試験区の被害率の推移